

# 令和6年度第1回函館中央警察署協議会議事概要

## 1 開催日時

令和6年6月21日（金）午後2時00分から午後4時00分まで

## 2 開催場所

函館方面函館中央警察署3階大会議室

## 3 出席者

### (1) 協議会委員 12名（定員13名）

会長	向井 妙子	副会長	檜原 永都子
副会長	田名部 まり子	委員長	鹿嶋 洋子
委員	高橋 哲郎	委員	石橋 美栄子
委員	小野 義則	委員	井上 邦彦
委員	阿部 真奈美	委員	川又 修治
委員	本谷 文子	委員	藤田 竜

### (2) 警察署 7名

署長	岡崎 健一	副署長	大橋 俊夫
刑事生活安全官	柏川 宗隆	交通官	横田 直哲
地域官	小竹 善郎	北斗交番所長	横田 俊夫
警務官	千里 和司		

## 4 函館中央警察署協議会会長挨拶

本年5月29日、函館市の山林でタケノコ採り中に行方不明となっていた女性が亡くなる遭難事故が発生し、報道されています。

また、全国的に市街地への熊の出没が相次いでおり、群馬県では屋内に入ってきた熊に高齢男性が噛まれる事故も発生しています。

協議会を通じて、地域住民と警察が共通認識を持ち、より住みやすい街を構築するためにも、忌憚のない意見をいただき、活発な協議会になることを期待します。

## 5 函館中央警察署長挨拶

委員の皆様には、警察活動を知って頂き、警察では気づいていない事項や改善すべき事項についてはご意見を頂き、今後の活動に取り入れていきたいと考えていますので、ぜひ、忌憚のないご意見ご提言をお願い致します。

## 6 議事

- (1) 懲戒処分状況
- (2) 管内の治安概況の説明
- (3) 函館中央警察署のできごと
- (4) 議題

ア SNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況と抑止対策について

イ 函館中央警察署管内の交通事故発生状況について

## 7 委員からの要望・意見と警察の説明

委員 特殊詐欺やSNS型詐欺の被害者は、まさか自分が被害に遭うとは思っていませんでした。自転車のヘルメット着用に関しても誰も被っていないので自分だけが事故に遭うわけがないと考えている方が多いと思われるが、危機意識を持たせるために警察ではどのような活動をしているか。

警察 詐欺被害に関しては、連日ニュース等で報道しているものの被害が後を絶たない現状にあることから、実際の犯行手口を繰り返し広報したり、興味をもってもらえるよう工夫した情報発信により被害防止に努めていきたいと考えています。

ヘルメット着用に関しては、自転車利用者が当事者となる事故の発生状況について、各高校等を回り広く広報することで着用率を推進していきたいと考えています。

- 学校や職場などの職域としてヘルメット着用率を広めることで少しずつ地域全体に浸透していくと考えています。
- また、自転車の交通違反は検挙されないと認識されている方もいるので、悪質な違反は検挙対象となることを周知することも重要であると考えています。
- 委員 函館中央警察署におけるSNS型詐欺やロマンス詐欺の検挙事例はないか。
- また、被害に遭った場合は泣き寝入りするしかないのか。
- SNS型詐欺等は、投資に関する知識がない方が被害に遭う傾向があるため、実際に被害に遭うと多額の資産を失い、取り戻すことが困難になることを広報することが効果的であると考えているがいかがか。
- 警察 SNS型詐欺やロマンス詐欺は、本年に入り被害を認知するようになり、当署管内に関しては検挙事例はありません。
- 被害防止の情報発信については、今までの特殊詐欺とSNS型詐欺では被害者の年齢層が違います。
- 特殊詐欺については高齢者が被害に遭う傾向にありましたが、SNS型詐欺については年齢に関係なく携帯電話等でSNSを利用する方が被害者となっています。
- 犯罪被害防止のためには、リアルタイムによる情報発信が効果的であり、北海道警察では、犯罪発生状況や防犯情報などをお知らせする「ほくとポリス」というアプリを配信しているので登録者を広める活動を推進したいと考えています。
- また、被害者の同意があれば、被害者の生の声を発信していきたいと考えています。
- 委員 ヘルメット着用促進に関しては、学校の教職員から生徒への声掛けという構図が多いがなかなか浸透しないのが現状なので、学生自身から友人を事故当事者にさせない意識を醸成する施策が効果的だと考えるがいかがか。
- 警察 当署では、自転車利用時のマナーアップの取り組みである「ハイスクール・サイクル・セーフティ」を、管内の高校を対象に実施中であり、各校で様々な取組を実施し、情報共有を図っております。
- 委員 取組期間中は、ヘルメット未着用による交通事故の危険性を認識するが、徐々に意識が薄れ浸透するまでには至らないと思われるので、長期的に機運を高めていく方法を模索する必要があると考える。
- 各学校と連携し生徒から募集した標語やポスターを展示しヘルメット着用促進を図るのはいかがか。
- 警察 関係機関と連携し検討していきます。
- 委員 日本語を上手く解さない外国人が情報を入手するのが難しいと感じており、外国人が読んでも分かりやすい優しい日本語による情報発信はできないか。
- 警察 ホームページ等では、可能な限り英語表記でアクセスできるようにしていますが、さらにかみ砕いた優しい日本語で標記するよう工夫する必要性があると考えています。

## 8 次回の開催予定及び議事について

- (1) 次回開催予定  
令和6年9月下旬を予定
- (2) 次回議事  
次回開催までに事務局で決定する